

件名	東アジア文化都市2026松本市実行委員会第2回総会の実施結果について		
日時	令和7年9月18日(木) 15時00分～16時00分	場所	市民芸術館 オープンスタジオ
出席者	委員16名、監事2名、企画推進チーム5名、オブザーバー1名 詳細は別紙出席者名簿のとおり 報道機関 2社(信濃毎日新聞、市民タイムス)		
<p>標記の会議を開催しましたので、下記のとおり実施結果を報告するものです。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 会議名 東アジア文化都市2026松本市実行委員会第2回総会</p> <p>2 実施結果 以下の全ての審議事項について承認されました。</p> <p>(1) 報告事項 令和7年度事業進捗状況報告 ア 事業展開の枠組みについて イ 事業スケジュール(案)</p> <p>(2) 協議事項 ア 事業企画立案状況について イ 広報計画(案)</p> <p>3 質疑</p> <p>(1) 助成事業について、実際にお金を支出するのは来年度の予算か。今年度の予算の中には特にそういったものは入っていないのか。予備費の中から出すのか。 → 今年度の企画推進費から3月までに終わる事業を対象。4月以降開始の事業は令和8年度予算で対応。</p> <p>(2) 参加プログラム、助成金の参加プログラムというのはどのくらいの数のイベントを想定しているのか。 → 参加プログラム約20件、発信プログラム約4件、総予算約1000万円を予定。</p> <p>(3) 事業の開催目的に新たに『伝統文化資源の再評価』が追加されたが、食文化についてはどのような取り組みを考えているのか。 → 松本カレンダーで食文化を取り上げるほか、日中韓の行事食をテーマとした交流企画を検討中</p> <p>(4) 台湾のアーティストと中国のアーティストを同じイベントで扱う場合、どこまで政治的配慮が必要なのか。 → 民間レベルでの交流は可能だが、鉢合わせを避ける配慮が必要。具体的な対応はケースバイケースで個別相談</p> <p>4 当面の予定 令和7年度</p> <p>10月1日(水) 助成・認証事業募集開始 ロゴマーク使用許可申請受付開始</p> <p>10月中 個別相談会を複数回実施(予約制)</p> <p>11月28日(金) 助成・認証事業1次募集締切</p> <p>11月23日(日)～25日(火) 日中韓文化大臣会合(マカオ)参加正式宣布式</p> <p>12月 助成事業プレゼンテーション審査実施</p>			